

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3890500022
法人名	株式会社 お茶屋の里
事業所名	グループホーム 上の茶屋
所在地	愛媛県新居浜市西の土居町二丁目 8 番 1 5 号
自己評価作成日	平成22年11月10日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年11月19日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>「いつも笑顔で穏やかな暮らし」の理念通り、利用者と職員の笑顔を絶やさないようにしている。利用者・職員が家族のように信頼関係ができるようにしている。出掛けられる間は、いろいろなところへ出掛けていきたい。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>この一年間、事業所では「イベント時、利用者のご家族で楽しんでいただく」事に力を入れて取り組んでおられ、昨年のクリスマス会では、ご家族が寿司ネタを手配してくださり、一緒ににぎり寿司を作ったり、二人羽織をして楽しい時間を過ごせるよう企画された。遠方に住んでいるご家族から「利用者ご本人の様子をメールで知らせたい」との要望があり、写真を携帯電話を使ってメール送信して喜んでいただいた。 玄関のエントランスに「カフェコーナー」を設けておられ、いつでもコーヒー等が楽しめるようになっている。ユウカリは空気をキレイにする作用があることから、みかんの枝とともに生けておられた。又、テーブルの上には、ミントとガーベラが飾られ、マッサージ機も置いて、くつろげる雰囲気的空間を作っておられた。食堂にはテレビ・お手玉・新聞・アルバム等もあり、調査訪問時、利用者は、職員と一緒に広告を見ながらおしゃべりしておられた。</p>

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム 上の茶屋

(ユニット名) 桔梗

記入者(管理者)

氏名 安部 直子

評価完了日 平成 22 年 11 月 10 日

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 「地域と交流をもちながら楽しく暮らせるように」という理念のもと、利用者が地域の中にどんどん出られるように支援している。毎日理念を唱和している。	
			(外部評価) 理念を毎朝の申し送り時に全員で唱和しておられ、利用者も理念を覚えて、一緒に唱える方もいる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 事業所全体としても地域の中で暮らしていけるように定期的に会に出席したり、イベントに参加したりして日常的に交流している。	
			(外部評価) 近くの遊歩道をよく散歩されており、顔なじみになった方から、庭に咲いているお花を頂くこともある。校区の運動会に参加した際には「元気に歩いて自信ができた」利用者もおられたようだ。又、校区の文化祭に出かけた際には、開催場所の公民館を「以前に行った事がある」と思い出された利用者もあり、周辺の地理や当時の様子を職員に教えてくださったようなこともあった。管理者は、今後「地域の方と一緒に夕涼み会やバーベキュー等のイベントを楽しんだり、畑にさつまいもを植えて近くにある民間の保育園の園児を招待して、利用者との交流の機会を作って行きたい」と考えておられた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議などでは、話をして理解してもらえるように努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実 際の取り組みを報告している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>会議を2ヶ月毎に開催しておられる。会議では、公民館長や民生委員や自治会長等から地域行事についての情報を教えていただき、参加されている。11月には、職員と利用者でチラシを配布しながら声かけしたり、チラシを公民館に置かせてもらい「介護講習会」を実施された。ご自宅で介護をしているご近所の方の参加もいただき「ベットから車椅子への移乗の仕方等を教えてもらって良かった」と喜ばれたようだ。</p>	<p>管理者は、今後、会議に介護に関する講習会を採り入れ たり、事業所での敬老会やクリスマス会等のイベン トと併せたりして、いろいろな方に参加いただき、事 業所のことを知ってもらったり、意見を聞かせていた だきたいと考えておられた。さらに地域とのかかわり を深めて利用者の生活を上げていけるよう、取組み をすすめていかれてほしい。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>市担当者とも連絡を密にするようにし、事業所の実情 なども報告している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議には地域包括支援センターの担当者が参 加して下さっており、新しく入居された利用者の状 況等を知っていただけるよう報告されたり、利用者同 士の関係作り等についても相談されている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>身体拘束をしないケアに努めているが、正しい理解を 職員全員がしているとはいえない。研修をするよう取 組んでいる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>調査訪問時「帰りたい」との思いのある方が、何度も 玄関から出かけて行かれる様子があり、その都度、職 員は、一緒に出て歩かれたり、お話をしている様子 が見られた。職員の勉強会時「身体拘束」についての知 識等について研修を実施された。</p>	<p>時に、職員が「利用者の動きを止めてしまうような言 葉を使ってしまうような場面もある」と管理者は感じ ておられる。利用者の「笑顔で穏やかな暮らし」への 支援に取り組む事業所でもあり、言葉による拘束等 についても、この機会に全職員で点検してみてもどう だろうか。</p>

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) ミーティングなどで折りにふれ話をしている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 管理者は研修を受けているが、職員は学ぶ機会をもっていない。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時は、利用者・家族に契約書と重要事項を説明して納得してもらえよう努めている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 面会時にはご意見・ご要望がないかお聞きしている。 意見箱の設置もしている。	
			(外部評価) この一年間、事業所では「イベント時、利用者のご家族で楽しんでいただく」事に力を入れて取り組んでおられ、昨年のクリスマス会では、ご家族が寿司ネタを手配して下さり、一緒ににぎり寿司を作ったり、二人羽織をして楽しい時間を過ごせるよう企画された。遠方に住んでいるご家族から「利用者ご本人の様子をメールで知らせて欲しい」との要望があり、写真を携帯電話を使ってメール送信して喜んでいただいた。又、ご家族の来訪時や食事会・運営推進会議時に、意見等を出してもらえよう働きかけておられ「職員の名前が分からない」との意見が出されたことがきっかけで、玄関に職員個々の写真と名前を掲示されていた。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	日頃より職員の話に耳を傾け、意見や提案などを反映できるようにしている。	
			(外部評価)		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	代表者は日頃より管理者や職員の話をよく聞いており、個々の勤務状況を把握しており、職場の環境条件の整備に努めている。	
			(外部評価)		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	代表者は管理者により職員の1人ひとりの力量などを聴いて把握し、研修なども受けるよう勤めている。	
			(外部評価)		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	グループホーム協会に入っており、研修他相互研修などで交流を図り、他の施設なども訪問させてもらっている。	
			(外部評価)		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	利用するまでに本人に会い情報を得ている。本人の要望を聞いて納得してもらって、安心して暮らしていただくように努めている。	
			(外部評価)		

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用開始前から家族の困っていること、心配なことをよく聞いて、不安なく過ごせるように努めている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>相談内容から状況を判断し、本人が必要としているサービスを検討し、家族に確認してからサービスを提供している。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者は人生の先輩と尊敬し、一緒に過ごす家族のような関係を築くようにしている。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族により考え方が違うところもあるが、共に支えていく関係を築いていき信頼関係を築くようにしている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>馴染みの人が訪ねて来られたり、その人のことを一緒に話をしたり、家族から話を聴いたりして関係が継続するように努めている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>校区の運動会では、ご本人が以前に活動しておられた婦人会や老人会のメンバーの方から声をかけていただいたり、ご近所でお散歩の時に挨拶する方達からも声をかけていただき、利用者も喜ばれたようである。校区の文化祭に出掛けた際、利用者は知り合いに会い、懐かしがられ「ホームに会いに来てね」と話しかけられたようだ。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価)	利用者それぞれの状況を踏まえ、職員が間に入ったり声かけをしながら孤立することのないように努めている。
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)	退所された方より、相談があれば支援するようにしているが、こちらからは積極的に交流はもっていない。
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)	利用者それぞれの思いを汲み取るように努めているが、困難な場合は、家族も含め話し合い、納得してもらえる方法をとるように努めている。
			(外部評価)	
				「家族に伝えたいことがあるの」と利用者から希望があった際には、電話でご家族と話す機会を作るようにされている。職員それぞれが利用者個々から聞き取ったことを持ち寄って、思いや意向の把握に努めておられる。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)	本人・家族より話を聴き、意向に沿うようにカンファレンスを行い、サービス提供に努めている。
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価)	1人ひとりの身体状況や生活リズムを把握し、日々の状態の変化も気付けるように努めている。

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人の状況、有する力の変化などを家族、かかりつけ医師と相談しながらカンファレンスを行い計画を立てている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ケアプラン作成前には「気づきアイデアシート」を貼り出し、全職員に「日々のケアの中での気づきから、ケアをどうすれば良いか」案を記入してもらい、職員の意見を聞くようにされている。ご家族の来訪時に、ご本人の暮らしへの要望等をお聞きして、その後、計画作成担当者と利用者ご本人の担当職員が話し合い、介護計画を作成されている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日々の様子、ケアの実践など個別に記入し、職員間で情報の共有するようにしている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族とも連絡を密にし、その時々その人それぞれのニーズに対応できるようにしている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>地域の人達によるボランティアや慰問などを受け入れ地域の中で共に暮らしていけるように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)	
			本人や家族が希望するかかりつけ医との関係を築きな がら、受診できるようにしている。	
			(外部評価)	
			2週間に1回、協力医の往診があり、利用者全員が受 診されている。専門医等の受診は、ご家族が付き添わ れるが、ご家族の都合に合わせて職員が同行されてい る。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価)	
			看護師はホームにはいないので、かかりつけの医師に 相談して受診、服薬などの支援をしている。	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)	
			本人・家族が安心できるように、様子を見に行っ たり、病院関係者との情報交換もしている。	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			重度化していった場合、かかりつけの医師や家族と今 後のあり方についても相談し、今後の支援について相 談している。	
			(外部評価)	
			入居されて時を経て、高齢・重度化した利用者のご家 族に対しては、管理者が看取りについてお話する機会 を作っておられる。ご家族の中には最期まで「グルー プホームで見て欲しい」と希望される方もあり、ご家 族とは「ご本人が食事が食べられなくなった場合どう するか」等、話し合われている。管理者は「職員の不 安」等もあるが、今後、事業所で利用者を看取る支 援にも取り組んでいくことを検討されていた。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 勉強会などで知識を身につけるようにはしているが、職員の入替わりもあり、全ての職員が力をつけているわけではない。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 定期的に避難訓練をしており、地域の人にも参加と協力をしてもらっている。地域での訓練にも利用者と共に参加している。 (外部評価) 6月に、消防署の協力のもと夜間想定避難訓練を実施された。又、近くにある介護施設の防災訓練に参加され、お互いの連絡網の中に事業所の電話番号を加えて協力体制を作っておられる。校区の「防災スクール」に利用者に参加し、火災の煙体験をしたり、地震体験車で体験している様子を見学された。	管理者は「今後、全ての職員が火災や地震、水害の訓練を経験できるよう取り組みをすすめたい」と話しておられた。時間や場面、メンバー等も工夫して訓練を行う等、利用者、職員の安全や安心に向けた取り組みをすすめていかれてほしい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 1人ひとりを尊重し、プライバシーも確保するようにしているが、耳の聞こえない方などにはつい大きな声で声かけをしてしまうこともあるので気を付けていきたい。 (外部評価) 職員は、玄関のエントランスを何回か往復して歩行練習をしておられる利用者に「しっかり歩いていますね」と声をかけておられた。耳の遠い利用者に、職員は、耳元近くでお話しておられた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) その人に応じて、思いや希望を表せるように、声をかけたり話をしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 基本的な生活のリズムでは過ごしてもらっているが、その人毎のペースを尊重し、一日を過ごしてもらっている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 希望の理美容院に行ったり、カットなどもご自分の意志を尊重してもらっている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しいなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 職員と一緒に食事をしてもらい、好みのものやそうでないものも美味しく食べられるように工夫し、食べてもらえるように支援している。	
			(外部評価) 現在は、法人内の給食が届き、ご飯はホームで炊くことになっている。管理者は、毎月の食事検討委員会で「アスパラガスの芯が食べにくい」「ウインナーの皮が硬いから魚肉ソーセージ等に替えて欲しい」「豆腐が少ない」等、利用者の食事の様子を見て意見を出しておられ、朝食は「ホームで手作りしたい」と希望を出しているところである。昼食時に職員は「レンコンは硬くないですか」等と声をかけながら介助されていた。利用者が個々のペースで食べておられ、時間をかけて食事する方も見られた。現在、月に2回利用者と一緒に「手作りクッキング」の日を設けておられ、ボランティアの方の協力も得て、焼きそばやカレー、お好み焼き等を作ったり、畑で採れた野菜を使って食事作りをされている。利用者は、野菜を切ったり、お好み焼きを引っくり返したりしてかわわり、食欲もすすむようである。又、ホットケーキやたこやきを手作りして楽しめることもあり、管理者は「手作りおやつの日を増やしていきたい」と考えておられた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量や水分量など、記録して、1人ひとりがバランス良く摂取できるように支援している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後、その人にあつた口腔ケアをしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	排泄の記録をつけて、1人ひとりのパターンを活かし、トイレで排泄できるように支援している できる限り紙おむつの使用が減るように支援している。	
			(外部評価)		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	それぞれの便の状態も記録し、便秘解消に向けて食べ物や運動などの働きかけもしている。	
			(外部評価)		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	毎日入浴できるようにしている。 その人に応じて体調や希望などに合わせて入浴してもらっている。	
			(外部評価)		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	それぞれの生活習慣や体調に応じて休んでいただけるように支援している。	
			(外部評価)		

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 1人ひとりが使用している薬について理解し、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 利用者一人ひとりが張りのある生活を送れるように、役割をもってもらったり、気分転換を図るなど、楽しく過ごせるように支援している。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) それぞれの体調や希望に合わせて買い物や散歩に出かけられるように支援している。季節に合わせてお花を見に行ったりする時は、家族や地域のボランティアの人達にも協力してもらっている。	
			(外部評価) 10月には、スプリンクラー設置工事をきっかけにして、利用者全員で砥部動物園にお弁当を持って出掛けられた。動物の赤ちゃんを見て「利用者の普段と違う笑顔を見ることができた」ようだ。利用者からは「遠くまで歩けた。」ことに自信を持たれた方もあったようだ。普段の近くの遊歩道の散歩や藤・つつじ・こすもす・芍薬等、季節の花を見に出かけたり、公民館の2階で芸能発表会が行われた際には、階段を上げられる利用者が参加された。小学校のツリー点灯式等にも参加されている。おやつを買いたいと希望があると職員が同行されている。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 利用者の能力に応じてお金を持ってもらい、買い物などにも行けるようにしている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 望みがあれば電話をかけてもらったり、手紙もやり取りされている方もいらっしゃる。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>照明や音なども刺激が強くないようにし、玄関には季節の花を植えたり、フロアにも季節感を取り入れて居心地良く過ごせるように工夫している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関のエントランスに「カフェコーナー」を設けておられ、いつでもコーヒー等が楽しめるようになっている。ユウカリは空気をキレイにする作用があることから、みかんの枝とともに生けておられた。又、テーブルの上には、ミントとガーベラが飾られ、マッサージ機も置いて、くつろげる雰囲気的空間を作っておられた。食堂にはテレビ・お手玉・新聞・アルバム等もあり、調査訪問時、利用者は、職員と一緒に広告を見ながらおしゃべりしておられた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>フロアのあちこちに椅子を置いたり、エントランスで座れたり、共有空間でも1人ひとりの時間がとれるように工夫している。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>本人や家族と相談しながら使い慣れたものを置いたり、配置も過ごしやすくするように工夫している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>使い慣れた鏡やタンス・椅子を持って来られていた。「オシャレの好きな方」の居室には、洋服がたくさん掛けられてあった。ご家族とご本人と一緒に旅行に行った際の写真にご家族がコメントを付けて飾ってくださっていた。ご自分で電気を点けたり消したりできるよう、ひもを長くしている方もあった。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>移動するスペースなどは安全を確保し、出来ることは1人でできるように環境を整えるよう努めている。</p>	